

北条町を歩く

かずたろう V 5

1. 痴漢の里に行く

北条鉄道の終点・北条町駅。その駅前の石碑には、堂々『ちかんの里』を宣言したものがあつた（下写真）。北条町は町ぐるみで痴漢を推進しているのだろうか。

なんという けしからん町だ。



[痴漢の里で取材に精を出す軍曹閣下]

しかしまあ、よくよく見てみると『らかん羅漢の里』であつた（そりゃそうやわな）。

そう、北条町には、誰が彫つたとも知れない500体もの石仏を抱えた寺があるのだ。町にも五百羅漢保存委員会などと言う組織があつたりして全面バックアップの構えだ。

われわれは昼時であつたが、食うものもとりあえず、羅漢寺へ向かつた。

おっと、その前に北条町へのアプローチを記しておこう。兵庫県加西市にある北条町は、町を東西に中国自動車道が横切っている。最近、加西ICもできたので、車なら至極 便のよいところだ。豊中からなら一時間で訪れることができる。町の中心部に駐車場も多く、しかも安い。最初の一時

間が50円、その後1時間ごとに100円という、信じられないような料金だ。これなら長時間でも安心して町をぶらつくことができるというものだ。

鉄道は前記の北条鉄道が、東南の小野市粟生から通じている。粟生には神戸電鉄が通じている。ということは豊中から鉄道を使って行く場合は、まず阪急で十三、神戸線乗換で、三宮。そして神戸高速で新開地。さらに神戸電鉄に乗り継いで、鈴蘭台で粟生線に乗る。そして約1時間乗ってようやく粟生。そこから北条鉄道で……うわあ。

大変だからやめた方が無難なようだ。

北条駅前には、自転車の無料貸出があり、観光客の利便をはかっている。しかし決められたサイクリングコース以外はアカンとか、小学生は使っちゃダメとか、決めごとがある。OH!WOO!!を読んで北条に行ってみたくなつたキミは、注意をよく読んで駅前自転車を使わなくてはいけないゾ。

2. 羅漢寺なのだ

さて取材班は、徒歩で羅漢寺へ。駅前から5分も歩けば、国道の喧騒からも遠のく。趣のある町並みをぶらぶらと10分ほど歩けば、もう羅漢寺だ。

羅漢寺自体は小さい。ムラのお寺さん、と言つた規模である。取材に行ったのは、土曜日だつたと思うが、それでも案内所に人はおらず、保存協力金みたいな入場料は、お菓子のカンカンの中に各自が入れるようになっていた。素朴でええなあ。

さて中に入ると、もう石仏しかない、と言っている。1 mに足らない高さの石仏が500体（数えたわけではないが）、それはもう「ところ狭し」と立ち並んでいる。

その一体一体が特徴のある顔立ちをしているので、誰かに似た石仏、ってのも見つかるかも知れない。



[羅漢寺の石仏達]

このような石仏群を一体誰が何のために作ったのだろう。パンフによると、『史実も資料も言い伝えさえも存在しない』

『永遠の謎』であるらしい。

『何百年か昔、戦争か飢饉かで無惨な死を遂げた人がたくさんいて、後の人が信仰心の発露から造立し供養したのではないか』と書いてある。

そう考えてみると、なにか哀愁を帯びた、うら悲しい表情の石仏が多いような。『ちかんの里』なんて おちよくって申し訳ない、という気持ちでいっぱいだ。

(ほんとかな?)。

3. 軍曹閣下、小学校で遊ぶ (しかも無断)

羅漢寺を後にした取材班は、北条町駅へ戻ることにした。途中、小学校を通り抜けると早いということで、軍曹閣下率いる3名は加西市立北条小学校に無断侵入した。通り抜けるだけならまだしも、閣下に至っては、「まだまだ若いモンには負けんよ」とばかりに鉄棒、棒登りを無断使用。

「さかあがり」「前方一回転」等を披露し、部下達を驚かせていた。

ちなみにこの小学校は、中日ドラゴンズでMVPに輝いた中尾選手の母校のようです。

4. ピザ風お好みは良いぞ！

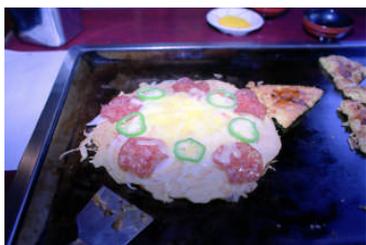
小学校を荒らした後、酒見寺（さがみでら）に立ち寄った。立派な仁王門を通ると、原色ハデハデな多宝塔があった。



羅漢寺とのあまりの違い。その両方をうまく共存させている北条町の懐の深さに改めて感心した。

懐といえば、めっちゃ腹が減ってきた。なにはなくともメシメシというWOO取材班にとって、取材の昼メシというのは、欠くことの出来ない大事なイベントである。

駅近くまで戻った取材班は国道沿いの「とよだ」という店に入った。ここは「お好み焼&ステーキ」を名乗っているお店である。メニューの一部を紹介すると、豚玉550円、牛・鳥賊・海老・牡蛎・鮪・カレー玉等各600円、モダン600円、ピザ風お好み900円、そしてビール(中)500円である。まあ普通と言えよう。



[ピザ風お好み焼き]

我々は3人で、モダン焼き・焼きそば・お好み定食・そしてピザ風お好みを注文。分けあって4種類のお味をそれぞれ楽しんだゾ。

中でも秀逸なのが、ピザ風お好みだ！写真のように、お好み焼きを覆うように、ベターっとチーズが乗っかっており、その上の基本アイテム3人衆（サラミ、ピーマン、オニオン）が彩りを添える。高血圧の方や太り過ぎの方（例えばSK氏）には、絶対にお奨めできないメニューですね～。

余談だが、このピザ風お好み焼きの売り出し文句が『以外とあっさりピザ風味』。ワープロではよく誤変換する言葉だけど、手書きでは申し開きできないゾ。筆者は親切にも店のオバチャンに教えてあげた。オバチャンは「まあそれはたいへん大事なことを教えていただきありがとうございます。」ってなことを言っていたが、「お礼として御代はけっこうでございます。」などは残念ながら言わなかったな～。

さてこの店の評価だが、ピザ風お好みの印象が強烈だったが、他のものもまずまずといったところだ。さらにタレは甘いのとめっちゃ辛いのが選択できる。マヨネーズもかけ放題だ。筆者としては、大変評価している。もう一度行ってみたいと思う。

GOOD

さあ、次はフラワーセンターだ～！

OH!WOO!!掲載時とは
写真・レイアウトを変えてあります。